7年2月15日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：悠心彩中西・ホリデイ市原

施設種類：グループホーム・小規模多機能ホーム

会議開催日時：令和7年2月15日

開催場所：悠心彩中西・ホリデイ市原 事務所内

出席者：

(人数)

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他(代表者、管理者、施設職員等)			4人

議題① グループホーム現況報告

- ・入居者の状況説明
- ・入居者数9名(男性1名・女性8名) ・平均年齢90才
- ・平均介護度2.4・事故 2件 ヒヤリ 0件

【活動状況】

- ・クリスマス会、書初め、節分、誕生日会

【今後の予定】

- ・地震災害避難訓練、ドライブ、おやつ作り

議題② 小規模多機能ホーム現況報告

- ・利用者の状況説明
- ・登録者人数18名 ・平均介護度 1.5
- ・事故 3件、ヒヤリ 1件

【活動状況】

- ・クリスマス会、書初め、初詣、新年会、節分、誕生日会

【今後の予定】

- ・地震災害避難訓練、ドライブ、誕生日会、

—ご意見・ご要望—

グループホーム

- ・悠心彩通信発送とありますが、どなたに向けて発送されていますか。

【回答】

ご家族様に向けて年に1度ですが、事業所側の新年の挨拶を兼ねて年頭に発送しています。

3ヶ月に1回は近況報告として入居者様の様子なども発送しています。

- ・チラシを入れている施設もあるみたいですが。

【回答】

PRのためや職員募集などあると思いますが、地域密着でありますからご家族様との関係を重視しています。

- ・他の施設では自治会の回覧板を活用されている所もあります。

【回答】

以前は回覧板に入れていた時期もありましたが、今はしていません。

- ・地震想定避難訓練予定とありますが、どのような訓練をするのですか。

【回答】

先日、スタッフ研修で地震の震度、ライフラインはどうか、どのように避難をするのかなど職員間で意見を出し合い、シュミレーションをして24日に実際に行う予定です。

小規模多機能ホーム

- ・訪問時のサービス内容についてどこまでするのか。

【回答】

利用者にとって良いサービスであり、どの職員が訪問しても同じサービスでなければならないので、職員間で統一して行わなければならない。

市職員

制度としては自立支援で出来ない所を一緒にする、物事が出来るように工夫して一緒に行うようにする。

- ・全て行っていたらきりがないので、自立できるように同じサービスをする。

利用者家族

世の中ではハラスメントとかものの言い方、受け取り方が難しいと思います。お互いにコミュニケーションをとっていい関係をつくりたいですし、家族との関係が大切なので電話と顔を見て話すとは違うし、基本は人対人なので

大変だと思います。

自治会より

- 活動など大変だと思いますが、よくされておられると思います。
以前お話しした車のスピードについて住民の方からホリデイの車を見かけなくなったと言われました。

【回答】

歩行者が通る所は通らないようにルートを変えてしています。

- 看板を持って出ているということを考えて行ってほしいです。

ーその他ー

2月24日に地震想定避難訓練を予定していますので、自治会の方にも参加のほどよろしくお願ひします。

自治会長

先月、県の方が来られて地震災害についての話が自治会でもあり、こちらの高齢者の方の避難についても話がありました。